

平成29年10月 土木工事積算基準正誤表

区 分	頁・行	誤	正	備 考																																								
河川編	205 樋門・樋管工 1-3労務費 樋-13	<p>(5) 標準掘付工数（鋼製付属設備） 205-010-04 樋門樋管掘付工数（鋼製付属設備）</p> <p>A 区分 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138300"/></p> <p>B～E区分 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138305"/></p> <p>鋼製付属設備掘付の標準掘付工数は次表のとおりとする。</p> <p>表1.7 標準掘付工数（鋼製付属設備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">工数算出式（人／t）</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="2">職 種 別 構 成 割 合</th> </tr> <tr> <th>掘 付 工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>$y = 5.09x^{(-0.434)}$</td> <td rowspan="5"> y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。 </td> <td rowspan="5">80%</td> <td rowspan="5">20%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>$y = 4.30x^{(-0.584)}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工数算出式yは標準掘付工数（人／t）、xは区分ごとの1基（橋）当りの掘付質量（t）である。 2. 小形水門と一括掘付の鋼製付属設備の区分C、D、Eの掘付工数は、小形水門の掘付に含まれる。 3. 掘付質量とは、製作質量に部品等の質量を加えた総質量である。 4. x及びyは、小数点以下第3位を四捨五入とし、小数第2位までとする。</p>	区分	工数算出式（人／t）	摘 要	職 種 別 構 成 割 合		掘 付 工	普通作業員	A	$y = 5.09x^{(-0.434)}$	y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。	80%	20%	B	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	C	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	D	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	E	$y = 4.30x^{(-0.584)}$	<p>(5) 標準掘付工数（鋼製付属設備） 205-010-04 樋門樋管掘付工数（鋼製付属設備）</p> <p>A 区分 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138300"/></p> <p>B～E区分 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138305"/></p> <p>鋼製付属設備掘付の標準掘付工数は次表のとおりとする。</p> <p>表1.7 標準掘付工数（鋼製付属設備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">工数算出式（人／t）</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="2">職 種 別 構 成 割 合</th> </tr> <tr> <th>掘 付 工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>$y = 5.09x^{(-0.434)}$</td> <td rowspan="5"> y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。 </td> <td rowspan="5">80%</td> <td rowspan="5">20%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>$y = 5.95x^{(-0.427)}$</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>$y = 4.30x^{(-0.584)}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工数算出式yは標準掘付工数（人／t）、xは区分ごとの1基（橋）当りの掘付質量（t）である。 2. 小形水門と一括掘付の鋼製付属設備の区分C、D、Eの掘付工数は、小形水門の掘付に含まれる。 3. 掘付質量とは、製作質量に部品等の質量を加えた総質量である。 4. x及びyは、小数点以下第3位を四捨五入とし、小数第2位までとする。 <u>5. A～E区分の分類は、「土木工事標準積算基準書（機械編）第1.8章「鋼製付属設備」を適用する。</u></p>	区分	工数算出式（人／t）	摘 要	職 種 別 構 成 割 合		掘 付 工	普通作業員	A	$y = 5.09x^{(-0.434)}$	y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。	80%	20%	B	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	C	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	D	$y = 5.95x^{(-0.427)}$	E	$y = 4.30x^{(-0.584)}$	
	区分	工数算出式（人／t）				摘 要	職 種 別 構 成 割 合																																					
掘 付 工			普通作業員																																									
A	$y = 5.09x^{(-0.434)}$	y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。	80%	20%																																								
B	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
C	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
D	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
E	$y = 4.30x^{(-0.584)}$																																											
区分	工数算出式（人／t）	摘 要	職 種 別 構 成 割 合																																									
			掘 付 工	普通作業員																																								
A	$y = 5.09x^{(-0.434)}$	y：標準掘付工数（人／t） x：1基（橋）当り掘付質量（t） 区分C、D、Eは単独掘付の場合に 適用する。	80%	20%																																								
B	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
C	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
D	$y = 5.95x^{(-0.427)}$																																											
E	$y = 4.30x^{(-0.584)}$																																											
	樋-14	<p>2. 間接工事費 2-1 掘付間接費 205-010-05 掘付間接費</p> <p>小 形 水 門 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138510"/></p> <p>鋼 製 付 属 設 備（A区分） <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138520"/></p> <p>鋼 製 付 属 設 備（B～E区分） <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138530"/></p> <p>(1) 掘付間接費の積算は（掘付工労務費）×（掘付間接費率）とする。 (2) 掘付労務費とは、直接工事費中の普通作業員を除く、機械設備掘付工労務費のみを対象とする。 (3) 掘付間接費率は次表のとおりとする。</p> <p>表2.1 掘付間接費率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>掘付間接費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 形 水 門</td> <td><u>6.580</u></td> </tr> <tr> <td>鋼製付属設備（単独掘付）</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 複数区分を一括して発注する場合は、主たる区分の率を適用する。 2. 「北海道の中小河川における樋門標準設計（北海道建設部河川課）」についても対象とする。</p>	区 分	掘付間接費率（%）	小 形 水 門	<u>6.580</u>	鋼製付属設備（単独掘付）	#	<p>2. 間接工事費 2-1 掘付間接費 205-010-05 掘付間接費</p> <p>小 形 水 門 <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138510"/></p> <p>鋼 製 付 属 設 備（A区分） <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138520"/></p> <p>鋼 製 付 属 設 備（B～E区分） <input type="text" value="施工単価コード"/> <input type="text" value="DX138530"/></p> <p>(1) 掘付間接費の積算は（掘付工労務費）×（掘付間接費率）とする。 (2) 掘付労務費とは、直接工事費中の普通作業員を除く、機械設備掘付工労務費のみを対象とする。 (3) 掘付間接費率は次表のとおりとする。</p> <p>表2.1 掘付間接費率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>掘付間接費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 形 水 門</td> <td><u>8.0</u></td> </tr> <tr> <td>鋼製付属設備（単独掘付）</td> <td><u>6.5</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 複数区分を一括して発注する場合は、主たる区分の率を適用する。 2. 「北海道の中小河川における樋門標準設計（北海道建設部河川課）」についても対象とする。</p>	区 分	掘付間接費率（%）	小 形 水 門	<u>8.0</u>	鋼製付属設備（単独掘付）	<u>6.5</u>																													
区 分	掘付間接費率（%）																																											
小 形 水 門	<u>6.580</u>																																											
鋼製付属設備（単独掘付）	#																																											
区 分	掘付間接費率（%）																																											
小 形 水 門	<u>8.0</u>																																											
鋼製付属設備（単独掘付）	<u>6.5</u>																																											

(5) 標準据付工数（鋼製付属設備）

205-010-04 樋門樋管据付工数（鋼製付属設備）

A 区分

施工単価コード	DX138300
---------	----------

B～E区分

施工単価コード	DX138305
---------	----------

鋼製付属設備据付の標準据付工数は次表のとおりとする。

表1.7 標準据付工数（鋼製付属設備）

区分	工数算出式（人／t）	摘 要	職 種 別 構 成 割 合	
			据 付 工	普通作業員
A	$y = 5.09 \chi^{-0.434}$	y：標準据付工数（人／t） x：1基（橋）当り据付質量（t） 区分C、D、Eは単独据付の場合に適用する。	80%	20%
B	$y = 5.95 \chi^{-0.427}$			
C	$y = 5.95 \chi^{-0.427}$			
D	$y = 5.95 \chi^{-0.427}$			
E	$y = 4.30 \chi^{-0.584}$			

- (注) 1. 工数算出式yは標準据付工数（人／t）、xは区分ごとの1基（橋）当りの据付質量（t）である。
 2. 小形水門と一括据付の鋼製付属設備の区分C、D、Eの据付工数は、小形水門の据付に含まれる。
 3. 据付質量とは、製作質量に部品等の質量を加えた総質量である。
 4. x及びyは、小数点以下第3位を四捨五入とし、小数第2位までとする。
 5. A～E区分の分類は、「土木工事標準積算基準書（機械編）第18章 鋼製付属設備」を適用する。

(6) 据付数による補正係数

同時期・現場、同等規模・型式の小形水門設備、付属設備を複数（門）据付ける場合の据付数による補正係数は次表によるものとする。

表1.8 据付数による補正係数

据 付 数	2	3	4	5以上
補正係数（1門、橋、基当り）	0.95	0.92	0.90	0.88

(注) 鋼製付属設備の区分C、Dについては、据付数による補正は行なわないものとする。

(7) 冬期屋外施工については、据付歩掛等の補正として、労務単価を補正する。

1-4 試運転費

試運転工数は、据付工数に含まれているので計上しないものとする。

1-5 直接経費

(1) 二次コンクリート及び型枠費

施工単価コード	D X 1 3 8 5 0 0
---------	-----------------

二次コンクリート及び型枠費の積算は、次式による。なお、二次コンクリート及び型枠費率は表1.9による。

$$\text{二次コンクリート及び型枠費} = \text{据付労務費} \times \text{二次コンクリート及び型枠費率} (\%)$$

据付労務費：表2.6標準据付工数で算出される職種別労務費の合計である。

表1.9 二次コンクリート及び型枠費率

対 象 設 備		二次コンクリート及び型枠費率
小形水門	プレートガーダ構造 ローラ・スライドゲート	7%

2. 間接工事費

2-1 据付間接費

205-010-05 据付間接費

小 形 水 門	施工単価コード	D X 1 3 8 5 1 0
---------	---------	-----------------

鋼製付属設備（A区分）	施工単価コード	D X 1 3 8 5 2 0
-------------	---------	-----------------

鋼製付属設備（B～E区分）	施工単価コード	D X 1 3 8 5 3 0
---------------	---------	-----------------

- (1) 据付間接費の積算は（据付工労務費）×（据付間接費率）とする。
- (2) 据付労務費とは、直接工事費中の普通作業員を除く、機械設備据付工労務費のみを対象とする。
- (3) 据付間接費率は次表のとおりとする。

表2.1 据付間接費率

区 分	据付間接費率 (%)
小 形 水 門	8 0
鋼製付属設備（単独据付）	6 5

- (注) 1. 複数区分を一括して発注する場合は、主たる区分の率を適用する。
2. 「北海道の中小河川における樋門標準設計（北海道建設部河川課）」についても対象とする。